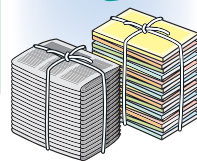


気軽に始めよう、古紙のリサイクル



古紙は大切な資源

古紙はさまざまな製品となつて、私たちの暮らしに戻ってきています。再び紙に、そして紙以外の製品にも。現在、古紙を最も多く利用しているのは、段ボール箱やボール箱用の厚手の紙で、なんと古紙を90%も利用して作られています。しかし、印刷用紙や包装用紙などの「紙」の古紙利用率は全国で30%台で、まだ低いのが現状です。

今後、古紙リサイクルを進める原動力と考えられるのは、古紙を捨てずにリサイクルさせること。そして、私たち一人ひとりが意識して古紙利用製品を「使う」こと。古紙利用製品の需要が高まれば、生産と流通は促進されます。できることから、始めてみませんか。



まず家庭で気軽に始めてみましょう

買い物の時は過剰な包装を断ろう。中身を出したあと、ほとんど捨てられる包装や容器。包装のないものを優先し、最低限のもの、再使用できるものを選びましょう。

古紙利用製品を買おう

ただ回収するばかりで古紙利用製品を使わなければ、リサイクルはうまくいきません。紙や文具などで古紙利用製品のあるものは、それを優先的に購入しましょう。

集団資源回収へ出そう

町内会、PTAなど地域住民が協力して行っている集団資源回収が地域で行われている場合は、古新聞などはそちらに出しましょう。(次ページに説明があります)

適正な分別、そして収集

再使用やリサイクルがされ尽くしたら、いよいよ札幌市によるごみ収集へ。家庭で不要になった紙を、ごみとして出す時は燃やせるごみです。分別方法を守って出しましょう。

わたしたちの毎日の生活から必ずごみは出てきます。このままごみを出し続けると、埋め立て地がなくなったり、ごみ処理にさらにお金がかかってしまうといった問題が発生します。さらに大きな視点で考えると、このままでは地球上の資源がなくなってしまう心配もあります。これを解決するために、今からでも、一人ひとりがごみを減らしていきたいものです。

今月は、皆さんが気軽に「ごみ減量」に取り組める方法の一つである「古紙のリサイクル」の方法や、地域の活動などを紹介します。

古紙リサイクルを進める 札幌市の新しい取り組み

市民の皆さんが、より気軽に古紙リサイクルに取り組めるように、札幌市では、古紙を持ち込める回収拠点を新たに設けました。ここでは区内の拠点を紹介します。(受け入れは家庭で不要になった紙のみです)

手稲区役所の古紙回収ボックス



(受入品目・新聞、雑誌、ダンボール) (受入時間・平日午前8時45分～午後5時15分、なお年末年始は受け入れなし)

古紙回収協力店

一部の古紙の間屋と古紙回収業者の事業所にも、市民の皆さんが古紙を持ち込むことができますよう

になりました。受入品目は新聞、雑誌、ダンボールです。

古紙回収協力店

まるます
◎(株)丸升増田本店札幌西支店
(住所・西宮の沢2条1丁目)
(電話・664-5278)
(受入時間・午前8:30～午後5:00、なお年末年始は受け入れなし)

この
◎河野商会
(住所・前田7条9丁目)
(電話・683-3250)
(受入時間・午後2:00～6:00、なお日曜日と年末年始は受け入れなし)

リサイクルプラザ宮の沢(西区)

手稲区の隣、西区にある同プラザでも、新聞・雑誌を受け入れられます。なお、他にも受入品目がありますので、詳細はお問い合わせを。



(住所・西区宮の沢1条1丁目 ちえりあ内)
(電話・671-4153) (休館日・毎週月曜日(祝日の場合は翌日)と年末年始)(開館時間・10:00～18:00)

※いずれの拠点でも、古紙は種類別にひもなどで束ねて持ち込んでください。